

青森県企業 ガイドブック2026

AOMORI COMPANY
GUIDEBOOK 2026



仕事も生活も
青森なら充実
！

企業の魅力も
この一冊で！



CONTENTS

- 2 青森県での“暮らし”の魅力
- 6 青森の企業に聞く!“あおもりのいいところ”
- 7 就活スケジュールと進め方
- 11 あおもり県内就職促進パートナー企業
(新卒募集企業/先輩社員情報)
- 32 新卒募集企業情報
- 145 認定マークの説明
- 146 業種別索引
- 152 エリア別索引
- 156 就活お役立ち情報!!

青森の将来を担う皆さんへ

青森県では、2040年における本県の「めざす姿」に「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」を掲げ、一人でも多くの若者が、青森県で人生を送ることに多様な可能性を見だし、「ここで暮らしたい」と思える魅力ある青森県づくりに積極的に取り組んでいます。

特に、若者の県内定着に向けて、若者・女性のニーズに対応した魅力ある職場づくりや企業の情報発信の強化について、産学官が連携して取り組んでいます。

この冊子「青森県企業ガイドブック2026」には、皆さんの若い力を必要とし、一人ひとりが輝ける職場環境づくりに真摯に取り組んでいる県内企業が数多く掲載されています。皆さんには、多くの魅力ある企業を知っていただくとともに、青森の将来、「青森新時代」を担う人材として活躍されることを期待しています。

皆さんの就職活動が実りあるものになりますよう応援しています。

青森県知事 宮下 宗一郎



青森県での “暮らし”の 魅力

いろいろな視点で見ていくと
実は青森は魅力がいっぱいなんです！
青森県で暮らすことのメリットを
ご紹介しましょう。

県外就職を希望する理由として多いのが、
「何となく都会に憧れて...」という答えです。
でも、それだけで決めて、本当に大丈夫ですか？
青森県は通勤時間の短さ、恵まれた居住空間など、暮らしやすさも充実。
最近は、豊かな食や絶景スポットなどが人気で、
国内外からの注目度も高まっています。
都会は遊びに行く場所、暮らすのは地元。
先入観やイメージにとらわれず、地元で働き、
暮らすことの魅力について考えてみませんか。



ひと昔前の状況とは大きく変化!

都会と地方の距離は縮まっている!?

- 「地元には仕事がない」という先入観を持っていませんか？
かつて青森県と東京都の有効求人倍率（職業地別、季節調整値）は、**3倍以上の格差**が
ありましたが、**今ではほぼ同じ**です。また、職種の選択肢も広がっています。
- 「青森県から都会へのアクセスが大変」なんて考えていませんか？
交通の環境が大きく変わり、東京は日帰りが当たり前の時代。仕事で東京と青森を行き
来したり、週末や休暇を利用して首都圏で余暇を楽しむなど、ライフスタイルはアクティ
ブに変化しています！インターネットやSNSも急激に進化し、都会と地方の情報格差はな
くなってきています。

あなたに教えた「あおもり」

えっ！ほんと？意外と知らない？！あおもりの「暮らし」の魅力。
3つの視点から全国ランキングを含めて見ていきましょう！

1.生活時間

通勤時間の短さ

働いている人の
自宅から勤務先まで

(平日一日当たりの平均往復通勤時間)



青森県 **全国10位**

時は金なり!
63分

神奈川県 106分 全国平均 81分

資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

例えば 1日約43分*×年間245日×勤続35年で

約**6,200時間**(約258日)の差!

*神奈川県と青森県の平均通勤時間の差

2.生活空間

住宅地の安さ

住宅地の平均価格

(1㎡当たり)

青森県 **全国2位**

夢マイホームは
夢ではない!
16,200円

東京都 466,400円

資料：国土交通省「令和7年都道府県地価調査」

家賃の安さ

(1畳あたり)

青森県 **全国1位**

1,999円

全国平均 3,403円

資料：総務省統計局「令和5年住宅・土地統計調査」

3.子育てのしやすさ

子どもを預けられる

待機児童数

青森県

全国1位

0人

東京都 339人

全国平均 48人

資料：子ども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ(令和7年4月1日)」

仕事と育児を両立できる

育児をしている女性の有業率

子育てしながら
働きやすい環境だなあ!

青森県 **全国8位**

82.8%

全国平均 73.4%

資料：総務省統計局「令和4年就業構造基本調査結果」

青森県ってすごいよ!

青森県では、地域の中で魅力ある仕事をつくり、多くの人々が働ける場所を生み出し、そこで生まれた収入を地域の中でしっかり回すという「**経済を回す**」取組を進め、人口が減っても、誰もが安心して暮らせる青森県づくりを目指しています。

青森で夢を実現!

県内で広がる
創業・起業という生き方!

青森県には、創業・起業をする人への応援の仕組がたくさん! 年々、夢を実現する人が増えています! 青森にいながら全国、はたまた世界に挑戦することも夢じゃない!

■県内10箇所の創業支援の専門家がいる「創業支援拠点」を利用した創業者数

資料: 経済産業部

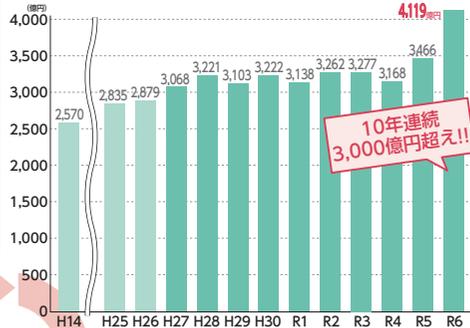


本県の強み!

成長し続ける農林水産業!
21年連続東北トップ!!

きれいな水や健康な土など農林水産物にとって恵まれた環境を生かし、あおもり米「青天の霹靂」などの質の高い県産品づくりを進めています。

■青森県の農業産出額の推移 資料: 農林水産省「生産農業所得統計」



世界が青森の魅力に 気づき始めた!

外国人旅行者からも注目されています。

北海道新幹線の開業、国際定期便・チャーター便の就航、訪日外国人の増加などのチャンスを生かし、県外・海外からたくさんのお客様を呼び込んでいます。2024年度の外国人宿泊者数は過去最多となる41.3万人で、国別では、台湾、中国、韓国に順に多くなっています。

■本県の外国人
延べ宿泊者数の推移

2024年
約41万3千人泊

2019年
約35万7千人泊

資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」
※従業員10人未満の施設を含む

■台湾・香港の人が行きたい
都道府県ランキング

- 1位 北海道
- 2位 東京都
- 3位 京都府
- 4位 大阪府
- 5位 青森県

資料: (株)ジーローメディアグループ
「訪日旅行に関する意識調査」

その美味しさを、 全国へ、アジアへ!

青森県が誇るプレミアムな農林水産品を、より新鮮な状態で味わって欲しい! ということで始まったのが「AI!Premium」と名付けられた流通サービス。トラック輸送と航空輸送を組み合わせることで、西日本エリアへの最短翌日配達を実現。

さらに青森空港を活用して、香港・台湾・シンガポールといったアジア圏にも最短翌日配達が可能に! 「メイド・イン・青森」の美味しさが、海を越えて広がっています!



知られざる魅力がまだまだある!

～青森県内のエリア紹介～

青森県は本州最北端に位置し、三方を日本海、津軽海峡、太平洋に囲まれ、中央部には奥羽山脈があります。そのため、日本海側と太平洋側では気候も大きく異なり、独自の歴史や文化を育んできました。県内6地域の特色をご紹介します。

東青地域

陸奥湾が育む豊富な食資源
陸・空・海の交通の要

県都青森市を中心としたエリアで、新幹線の駅や青森港、青森空港などの交通拠点が集中しています。すべての市町村が陸奥湾に面し、ほたてなどの食資源が豊富です。青森ねぶた祭りや三内丸山遺跡など、多彩な祭りや歴史ロマンが残されています。



下北地域

ダイナミックな自然と温泉
ブランド食材も豊富

県の最北部に位置し、恐山、仏ヶ浦、尻屋崎などの景勝地があります。また、北前船が運んだ京都祇園祭の流れをくむ祭りや、約550年の歴史を有する下風呂温泉郷のほか、最近話題の「下北ジオパーク」などの観光資源に恵まれています。



上北地域

海と山、湖沼の
美しい景観
バラエティー豊かな
食の宝庫

太平洋と陸奥湾、八甲田山系に囲まれ、十和田湖や奥入瀬溪流に代表される魅力的な観光資源に恵まれたエリアです。根菜類の栽培や畜産が盛んで、別名「宝湖」と呼ばれる小川原湖は、大和じみなど豊富な水産資源に恵まれています。



西北地域

日本海の海の幸と
津軽平野の恵み
魅力あふれる
観光資源が充実

西部は日本海に面し、南部には世界自然遺産白神山があります。日本海から水揚げされる魚種は豊富で、津軽平野では米やりんご、メロンなどの栽培が行われています。五所川原原佐武多やストープ列車など特有の観光資源に恵まれています。



中南地域

歴史と文化の香り
水と大地に恵まれた米とりんごの里

りんごの生産量日本一を誇る弘前市を中心としたエリアです。東に八甲田連峰、西に岩木山と白神山があり、本県を代表する穀倉地帯です。各地域で行われるねぶた祭り、藩政時代から受け継がれてきた伝統工芸など文化の香り高い地域です。



三八地域

太平洋の豊かな資源と里の恵み
ものづくり産業が集積

北東北有数の工業・水産都市である八戸市を中心としたエリア。夏は涼しく冬は晴天の日が多い、県内でも雪が少ない地域です。八戸市には工業団地が多く、ものづくり産業が集積しています。八戸三社大祭やえんぶりなどの郷土芸能も伝えられています。



青森の企業に聞く!“あおもりのいいところ”

ガイドブックに掲載いただいた企業に青森県の魅力を伺いました。その一部をご紹介します！



りんご、さくらんぼ、メロン、にんにく、まぐろ、いか、ほたて...せんべい汁、バラ焼き、つゆ焼きそば、味噌カレー牛乳ラーメン...
挙げたらキリがないほど、おいしい食べ物がいっぱいです。



四季折々に表情を変える豊かな自然です。
春は新緑が山を彩り、夏は澄んだ空気の中で力強く育つ森を感じることができます。
秋には色づく山々と実りの季節、冬は静寂に包まれた雪の森が広がります。

満員電車や長時間通勤のストレスが少ないため、仕事後のプライベート時間を確保しやすく、ワークライフバランスが実現できるところです。



優れた技術を持った企業が多数存在しており、国内・海外の大企業を相手に仕事ができます。



保育所への入園がしやすく、子育てに適した環境だと思えます。都市圏の物価高に比べるとコスト的にも住みやすいです。



自分の仕事が地域の力になっていっていると実感できます。



青森県は、自然・食・人の温かさに囲まれながら、自分らしいライフスタイルを確立したい人にピッタリの場所です。



大切な家族や仲間と離れることなく仕事ができる。安心して長く働き続けられる環境があります。



「弘前さくらまつり」や「青森ねぶた祭」、「八戸三社大祭」など、四季折々の祭りや伝統文化を楽しめるところが、青森の魅力です。

大自然が近く、休日に手軽にリフレッシュできます。冬はスキー・スノーボードなどのウィンタースポーツ、夏は釣りやキャンプなど、アウトドアを満喫できます。



就活スケジュールと進め方

はじめての就活で、何から手を付けたらいいのかわからない...
という皆さんのために
就活準備のAtoZを
本冊子でわかりやすく解説します。

就活スケジュール

企業の採用意欲は引き続き旺盛でインターンシップ等も活発化し、
早め早めに就活準備に取り組む学生が増えています。

※ES=エントリーシート

学生の動き	企業の動き					
	● 学校行事	インターンシップ等に参加	自己分析	仕事研究	エントリー	会社説明会
4月						
5月						
6月		サマー				
7月				業界・企業・職種の研究		
8月	● 定期考査					
9月	● 夏休み					
10月		オータム&ウインター				
11月						
12月						
1月	● 定期考査					
2月	● 冬休み					
3月	● 定期考査					
4月	● 春休み					
5月					エントリー	会社説明会
6月						ES・筆記試験・面接
7月						内々定
8月						
9月	● 定期考査					
10月	● 夏休み					
11月	● 院試					
						内定式
						内定開始

就活の進め方

就活準備は自分を知る(自己分析)と、業界や企業を知る(仕事研究)が不可欠です。インターンシップ等やOB・OG訪問を通して、自分の職業適性を確認することが大切です。



1 インターンシップ等に参加

インターンシップ等で就業体験することで、業務で求められる能力がわかり、仕事に生かせる自分の強みが明確になります。



2 自己分析と仕事研究

以下の視点で自分のことを深掘りしていきましょう。仕事に生かせるあなたの強みが浮き彫りになり、自分をアピールするための材料が見つかります。



Check!! インターンシップ等5つのメリット

- 1 **仕事理解**
業務の内容が具体的に理解できる
- 2 **自己理解**
自分の適性や興味・課題が発見できる
- 3 **スキル理解**
仕事で必要となる能力や専門性がわかる
- 4 **人脈**
目標となる社会人や他校の学生と出会える
- 5 **就活準備**
ESや面接などの実践経験が積める

Check!! 見つけよう4つのアピールポイント

- 1 何を経験したのか?
- 2 なぜその経験や選択をしたのか?
- 3 具体的にどう行動したのか?
- 4 その経験で学んだことは何か?

自分の興味、能力、価値観が明らかになってきたら、それをどんな仕事で生かせるのか、できるだけ幅広い視野で「仕事研究」を進めましょう。「なぜその業界を選ぶのか」、「その企業を選ぶ理由は何か」、「なぜその職種に就きたいのか」を明らかにしていきましょう。

✓ **業界研究** 一般消費者に商品やサービスを提供しているBtoC(Business to Consumer)の業界だけでなく、企業向けに商品やサービスを提供しているBtoB(Business to Business)の業界も選択肢に入れて考えてみてください。

✓ **企業研究** 「この業界の中で、なぜその企業を志望するのか?」について説得力のある答えができるように、各企業の強み、弱み、他社との違いなどをしっかり調べましょう。

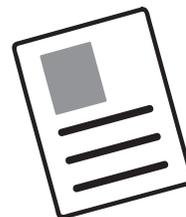
✓ **職種研究** 同じ職種でも企業によって仕事内容や求められる能力や専門性は異なるので、企業ごとにどんな職種があり、どのように仕事を進めるかを調べてみましょう。

3 自己PRと志望動機の作成

自分を売りこむためのポイントと、なぜその企業に入りたいのかをしっかりと把握し、まとめましょう。

4 エントリー

エントリーとは、その企業に「興味があります」という意思表示のことです。



5 エントリーシート・筆記試験・面接

エントリー後に、企業側からエントリーシートの提出を求められたら、エントリーシートを作成して提出します。



自己PRの作成

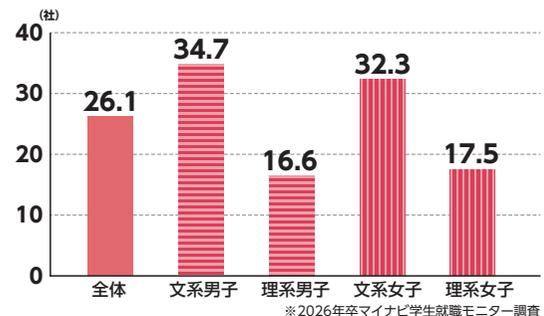
自分を売りこむためのポイントをまとめたものが自己PRです。これまでの経験の中で自分の長所や強みとしてアピールできることから、具体的なエピソードを交えてまとめること。また、その長所や強みを、志望企業でどのように生かせるのかを、採用担当者がイメージできるように表現することです。

志望動機の作成

“なぜその企業に入りたいか”をまとめるのが志望動機です。エントリーシートや面接で、説得力のある志望動機が表現できるよう、就職情報サイトの企業情報や会社ホームページだけでなく、リアルな情報を収集することを大切にしてください。インターンシップへの参加、OB・OG訪問にも取り組みましょう。

エントリーしたからといって、必ず説明会に参加しなければならないとか、エントリーシートを提出する必要があるわけではないので、最初の段階では、なるべく幅広い業界、企業にエントリーすることが重要です。

2026年卒の平均エントリー社数 ※2025年3月～7月までの累計



エントリーシート

現在は、Webのフォームを使って提出するケースが増えてきましたが、企業によっては手書きのエントリーシートが必要な場合もあります。

Check!! エントリーシート作成時の注意点

- 1 自分の個性や人柄がわかるように表現する。
- 2 経験談は、できるだけ具体的に記述する。
- 3 自分の言葉で表現する。
他人の文章をコピペしない。
- 4 話を盛りすぎない。等身大の自分を表現する。
- 5 自分の強みが仕事にどう生きるのかを表現する。



6 内定

企業が応募者を社員として迎える意思があることを伝えるのが「内定」です。



筆記試験

エントリーシートが通過すると、筆記試験を受験します。問題は、語彙や文章読解力を問う「言語」、計算力や論理的思考力を測る「非言語」、そして「性格適性」の3つのカテゴリーに分けられます。業界によっては「英語」「時事」などの一般常識や論文文関連の出題もあるので、事前に過去の出題傾向をチェックしておきましょう。

面接

書類選考、筆記試験が通過するといよいよ面接です。いろいろな形式があるので、それぞれの特徴をつかんで準備しましょう。

① 個人面接

学生1人に対して行われる。時間は、15～60分など企業により異なる。どんどん掘り下げて質問される。

② 集団面接

初期段階に多い。2～3人同時に面接を受ける。簡潔に伝えること、限られた時間でいかに自分の印象を残せるかがポイント。

③ グループディスカッション形式

5～8人で1つのグループを作り、与えられたテーマについて討議する。

④ プレゼンテーション型面接

自分の研究内容を説明する。研究職や開発職など、職種別の採用で行われることが多い。

内定は正式な決定ではありませんが、内定が出れば法的な拘束力が発生するので、卒業後の職の保証がなされたことを意味します。また、正式な内定の前に、「採用予定通知」という意味合いで出されるものが、「内々定」です。内々定と内定は、ほとんど同じ意味合いで使用されますが、内々定は正式な労働契約には至っていない状態のことを指します。

2027年3月卒の就活は、6月から選考開始というスケジュールになっていますが、人手不足&採用難を背景に、早い段階から内々定を出す企業が少なくないと予想されます。昨年のマイナビの調査では、4月末の段階ですでに70%の学生が1社程度の内々定を持っているという結果が出ています。企業によってスケジュールが異なるため、各企業と接点を持ち、情報収集に努めましょう。

内々定率月別推移(3～9月)



※2026年卒マイナビ大学生内々定率調査(3～9月実施)